

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	地域密着サービスを理解し、スタッフ全員で話し合い作成しています。		
2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念は、目のつく所にかけて日々のケアを行っています。カンファレンスでは、理念の実践が行われているか確認しあっています。		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	ご家族様には、お便りにのせ理解していただいています。地域の皆様には、ホームの入り口の目のつく所に掲げ見学等の際にお話したり運営推進会議にて発表させて頂き理解頂いています。		町内会の活動に出来るだけ参加し、又町内のボランティアの方々を通して地域への浸透に勤めます。
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	日々の生活にて(日光浴・散歩・買物・庭の掃除等)挨拶や、ちょっとした会話等が気軽に出来る雰囲気作りを行っています。又近隣の方より野菜を頂いたり、料理のお裾分けをしたりされたりのお付き合いをさせて頂いています。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	町内会に加入しています。花壇の水まき・お祭り・地域の行事に参加させて頂いています。(小学校ふれあいバザー・市電フェスタ・リサイクル活動等)		町内会の新年交流会に参加をしています。
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	近隣の方より訪問・電話などで、高齢者の生活状況等(今後)について相談を受けることあり。ホームと事業室が連携して対応しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>意義を全スタッフが理解し、自己評価をスタッフ全員で作成しています。外部評価の結果を踏まえ、ケアに取り組んでいます。</p>	
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議では、取り上げられた検討事項について、1つ1つ積み上げていくようにしています。調査報告概要表を御家族様・民生委員・地域の代表・包括支援センター等に送付させて頂き、各項目について運営推進会議で報告しています。</p>	<p>更に、定期的に運営推進会議を行なう様取り組みます。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>事業所の担当者が市町村と連携をとっております。会議等で、その情報を共有しサービスの向上に努めています。(札幌市管理者連絡会・中央区管理者連絡会・愛全会グループホーム連絡会)</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>対応とされる方がいないが、研修等に参加をし必要ときに支援出来るよう努めています。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止に関するマニュアルがあり、ホームの理念に基づいてカンファレンス等行っている。(事業所内に安全対策委員会を設けており、共通のマニュアルを作成・配布しております。)</p>	<p>内部研修等の参加。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、時間をとって丁寧に説明し同意を得る様にしています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様の言葉や態度からその思いを察する努力をし、入居者様本意の運営を心がけています。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月ふじのはなだよりを作成し(個々の状況等を書き込める欄を設けています。)報告しています。金銭管理は、その都度サインをご家族様より頂き月末にまとめて発送しています。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年1回ご家族様へ、ご意見アンケートを郵送させて頂いています。その意見を事業室にて取りまとめ、各ホームに反映させています。玄関にて、ご意見ボックスを設置しています。(H20.9月より)おたより・面会時等にて、気軽にご意見頂ける様呼びかけをしています。		ご意見がもっと出しやすいように、各居室にご意見用紙を設置する事を検討しております。
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	カンファレンスを月1回開き、スタッフの意見を聞く機会を設けています。又年2回個別の意見を聞く機会を設けています。(自己申告書)		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	入居者様の状況を考え、勤務調整を行っています。		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	やむを得ない人事異動等は、他スタッフにて引継ぎ、最善の努力をしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>内・外部の研修に参加しています。又事業所内に教育委員会を設立し、ケアマニュアルの作成と内部研修を定期的に行っています。</p>	<p>全体カンファレンスを2～3カ月に1度設け、研修報告を行っています。研修報告書を全職員が閲覧出来る様にしております。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>スタッフ研修会に参加し、又他グループホームとの交流をもち質の向上に励んでいます。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>他グループホームとの交流を計り、気分転換出来る機会を作っています。又、定期的に休みとなる勤務表作りをおこなっています。(年2回内部職員の交流会あり)</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>スタッフが向上心をもって働けるように、研修や資格取得等に参加しやすい環境づくりを行っています。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前には、必ず面談を行います。必要に応じてホームへ訪問して頂きゆっくりと話をし、環境や他入居者様スタッフなどに触れあえる機会をつくっています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前には、数回ホームに訪問して頂きホームの雰囲気等を確認していただきます。その際ゆっくりと話し合える機会をつくっています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談を受けたときは、早急に事業室へ連絡し、他サービスも含め対応に努めています。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前にホームの雰囲気に馴染める様に、ティータイムなどにお誘いして(数回)います。又、入居者様にあわせてご家族の宿泊や訪問回数など、徐々に馴染めるよう話し合っています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	人生の先輩であるという考えを、スタッフは共有しており暮らしの中で分かち合い楽しく生活が出来るよう工夫や配慮している。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	スタッフは、ご家族様とコミュニケーションを多くとるように努め同じ思いでご本人を支えるよう努めています。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	外出・外泊やホームの行事等に御家族を誘い、よりよい関係の継続に努めています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方の訪問や電話にて継続的な交流が出来るように努めています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	皆様に楽しく過ごせる時間や気の合う方同士で過ごせる場面作りをするなど、入居者様同士の関係がうまくいくよう職員が調整役となって支援している。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退去・入院された方へのお便りやお見舞いを行い、関係を大切にしています。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活歴や御家族からの情報・ご本人の言葉や表現などから一人ひとりの希望、意向の把握に努めています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時や面会時等、ご家族様知人より、情報をえてスタッフで共有し把握に努める。又ご本人の行動から生活暦などを探るよう努めています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々申し送り、ご本人への気づきなど細かなことをスタッフで共有できるようノートと申し送りにて行っています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	日ごろより気づきノートを利用し全スタッフにより意見交換し、ご本人・ご家族の意見を聞き介護計画を作成するよう努めています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	御本人ご家族様の意向を取り入れながら、見直しと個々の状況に応じてその都度変更を加え見直しています。センター方式の勉強会を行い、よりご本人らしいプラン作りに勤めています。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	個別にファイルを用意し、ご本人の言葉・気づきを記入しスタッフで共有しています。介護記録をもとに介護計画の見直し評価を実施しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	病院受診の同行(送迎)や、理美容室への同行(送迎)など行っております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	ご本人と地域と様々な接点を見出し、小学校の行事への参加と大正琴の演奏会に参加させて頂きました。		
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	町内会のすこやか倶楽部に参加したり、訪問美容・訪問歯科を利用いただいています。他ケアマネジャーと連携し在宅に向けての支援を行っています。		
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に参加して頂き、定期的に情報交換をしております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	事業所の協力医の他かかりつけ医への通院も可能であるが、訪問診療にも応じ複数医療機関と連携しています。又毎週看護師の訪問があり、健康管理を行っています。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	訪問診療の医師に指示や助言をもらっています。必要に応じて脳外科などに受診しています。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	訪問看護ステーションちゅうおうとの契約に基づき日ごろの健康管理や、医療面での相談助言を頂いています。(24h体制)		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には、ご本人への情報を提供し頻繁にスタッフが見舞う様にしています。又ご家族様とも情報交換をしながら速やかな退院支援に結び付けています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	常にご家族へ状態を報告し、可能であればご本人の意向を主にご家族様・主治医と連絡を密にしています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ご本人の気持ちを大切にしつつ家族と話し合い利用者が安心して過ごしていける様取り組んでいます。急変した場合は、すぐに対応出来る様、医療機関と密に連携を図っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	他の事業所に移られた場合、アセスメント支援状況などを手渡し情報交換を行い馴染みのスタッフが機会を作って訪問に行くようにしています。又、在宅へ戻られるかたには、ケアマネと御家族様と利用内容を確認し家屋チェック等を行っています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	申し送り時など部屋番号にて行き、記録は一人づつ分け特定の保管場所に保管しています。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	利用者個人個人に合わせた声かけをし、表情を観察して利用者様本人に合わせたケアを行い、本人の意思決定を尊重しています。		
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切に、体調に気をつけ、希望に添えるよう努めております。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	その人らしい見出しなみが出来る様声掛けし、外出時や行事等おしゃれを楽しんでもらえる様にしています。また、鏡に向かう時間も大切にしています。		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	買物・食事準備・片付けと入居者様と共に行っています。各入居者様の好みを取り入れたメニュー作りや、食事を楽しめる様、音楽を掛けたりと雰囲気作りも大切にしています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	嗜好品を楽しめるよう取り揃え、本人の様子や時間を見ながら、楽しんで頂いております。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりの排泄パターンを把握するよう努め、出来るだけトイレでの排泄ができるよう行っております。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	その都度、本人へ意思確認しています。入浴剤・音楽等、空間に工夫をし、楽しい入浴が出来る様心掛けています。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	午前中は活動に、午後は穏やかに過ごす時間の流れをつくる様努め、安眠できるよう就寝前に温かい飲み物を勧めています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	一人ひとりの出来ること、出来ない事を把握し得意な事(清掃・料理・縫物・編物・文字書き等)を行っていただいています。また生活歴より小学校の行事・畑への収穫・自宅周辺へのドライブ・地域の行事等にも楽しく参加していただいている。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	事務所にて管理しています。外出時、買物時には自力で支払える様支援しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	体調・天候・希望に合わせて、散歩・ドライブ・買物・外食・花壇をみたり(日光浴)・畑の野菜採り・草むしり等、日々行っています。		
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみない普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	あらかじめ計画を立てて、職員の勤務を調整する等行っています。御家族も同行して頂く事もあります。(小学校ふれあいバザー・栗山メロンツアー・小樽故郷ツアー・南太鼓まつり)		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	お礼のハガキや電話等、日常的に行っています。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	訪問時間等定めておらず、いつでも来て頂けるようお話ししています。広いリビングと居室にてくつろいで頂いています。(お茶をすすめたり、アルバムをみて頂いたり、時々お話にのんびりしております。)		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	申し送りやカンファレンスにて話し合い、行っていないかを振り返り点検しています。		内部研修等の参加予定です。
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	玄関の鍵を掛けていますが、地域柄と御家族に了解得ています。入居者様の外出したい時には、さりげなく声掛け外出の支援を行っております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	同じ空間で共に過ごし、さりげなく状況を把握する様スタッフ間声かけし合い24時間安全に配慮するよう努めている。夜間では、毎時間所在や入眠状況を把握するよう努めています。		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	利用者様の状況に合わせ、厳重に保管すべき物・保管管理が必要な物・利用者様が使う時に注意が必要な物に分けて管理しています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	一人ひとりの想定されている事故を未然に防ぐため、ケアプラン立案時よりカンファレンス等で話し合っています。又、事故発生時には、事故報告書を作成し、原因と今後の予防対策について検討しています。避難訓練は、9月に行っています。		愛全会グループホームにて、安全委員会を設立し共通の事故マニュアルを作成しています。
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	応急手当の研修等に全員が参加して、知識を身につけ対応に努めています。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	マニュアルを作成し、防火訓練を行っています。冬期間では、近隣の方よりホーム周りの避難通路の雪かきを行っていただいています。		運営推進会議を通して、地域の人々の協力を得られる様働きかけています。
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	色々な活動や自由な外出によりリスクが高くなるが、力の発揮や抑制感のない暮らしが、ご利用者様の表情を明るくしていることを御家族様にも見て頂いたり、面会時に説明する様(写真をみて頂いたり)心がけています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	普段の状況を把握しており、様子の変化が見られた時は、御家族様、訪問看護、訪問診察と連携をとって対応しています。		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬の内容をスタッフが確認できるようにしている(処方箋・処置板)服薬時の本人に手渡しきちんと飲まれているか確認しています。薬のセット時には、セットする人飲ませる人を変えて行っています。		
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	食事(野菜や乳製品等)や水分を多く摂れるよう働きかけ(容器の工夫・嗜好の把握)、又、散歩・レクリエーション等、体を毎日動かし、自然排泄できるよう取り組んでいます。		
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、口腔ケアの声かけを行い、職員が見守ったり、介助を行っている。就寝前の義歯洗いは必ず行い、消毒行っている。外出時、肺炎予防の為にうがいを徹底している。		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士の作成したメニューにより、その方にあった食事量と力に合わせた器・箸・スプーン・を利用してバランスよく食べて頂いています。(形状も変えて) 水分量も1000ccを目標に嗜好の把握と形状(トロミ・ゼリー)をとり入れ行っています。		
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症予防マニュアルを作成しており、御入居者様・スタッフの手洗いを徹底しており来所された方にも手洗いをさせて頂いております。スタッフ共にインフルエンザ予防接種を受け、ノロウイルス対策としてペーパータオルを使用しています。		
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	食器洗浄機を使用し、毎食後布巾等の漂白に努めています。冷蔵庫(冷凍庫も含む)の食材残りの点検・掃除も頻繁に行っています。食品衛生管理者の資格取得者が常勤しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1) 居心地のよい環境づくり			
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。		
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	生活環境のあらゆる所に手すりが設置されており、料理用のカウンターには食器収納スペースがあり入居者様が使用しやすい様設定されています。		
86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	本人にとって何が分り分らないのか、スタッフ間で話し合い状況に合わせて環境整備に努めています。(トイレ・浴室には表示があり、居室には表札がついています。文字のわからない方には、お花等を飾りくふうしています。)		
87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	庭には芝生があり、花壇や畑のスペースを設け入居者様が日常的に楽しみながら活動出来るような環境をつくっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目		取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない</p> <p>御入居者様の行動や表情よりくみ取り、直接御本人からの声を聞いて意向を掴める様努めています。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>リビング等で、コミュニケーションを中心に特に午後に静かな時を共に過ごすよう心がけています。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>個人の生活リズムを大切に、又崩さない様にさりげない声かけと対応に努めています。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>出来ること(料理・縫い物・掃除・買物)のお手伝いをする事で、表情が生き生きとされています。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>御入居者様の要望に出来るだけ添えるよう、ご家族様も含めて調整しています。近隣の散歩や買物は、その都度行っています。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>御入居者様と馴染みの関係となっている医師・看護師が、定期的に訪問されている事で安心されている様子です。</p>
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>家に帰りたいと想いのある時等は、一緒に外出したり電話を掛けることで安心される様努めています。又食事の面では、ご本人の体調や要望に応じて嗜好品を添えたり形状にも配慮する様努めています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない</p> <p>ご家族の来訪時には、時間をとりよく話を聞くようにし、ご家族の不安や想いも気軽に話せる関係づくりに努めています。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>馴染みの友人・知人の訪問があり、又町内には、近所付き合いのできる馴染みの人がいます。</p>

. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	地域の小学校や、町内会の活動に参加し少しずつつながりが広がっています。
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	カンファレンス時には、意欲的な意見やアイデア等が聞かれています。又御入居様とのかかわりの時には、笑顔が多くみられ生き生きと働いていると思われれます。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	日々の穏やかな様子や、他入居様との支えあいや笑顔を見る事で満足されているように感じられています。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	来訪時や御家族を交えた行事等にて、感謝の言葉を頂けたりする事で、満足されている様感じられます。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】		
(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)		中央区という立地条件でありながら、藻岩山の緑に囲まれ四季折々の景色が楽しめるホームの周りには、芝生や菜園があり近隣の方との交流も行えています。又周辺には、歩いていける距離に飲食店が多く気軽に利用しています。